

医療従事者を対象にした、  
現場の課題と必要な支援に関する  
アンケート調査【結果】

2020年5月12日

ケイスリー株式会社

[contact@k-three.org](mailto:contact@k-three.org)

- 
1. アンケート概要・結果（サマリー）
  2. アンケート結果詳細（回答者の属性）
  3. アンケート結果詳細（負担やストレスの程度）
  4. アンケート結果詳細（現場の課題と必要な支援）
  5. アンケート結果詳細（属性別の課題分析）

## 1-1 アンケート概要

---

趣旨

実際の医療現場の声から、医療関係者が抱えている問題と必要としている支援を明らかにする

---

期間

4月22日～4月28日

---

対象者

医療従事者

---

実施方法

オンラインアンケート

---

回答数

149件

- **90%近くが、平常時よりも大きなストレスや負担を感じている**と回答。（ストレスや負担の程度を10段階で表すと、中央値が平常時「4」に対して、現在「7」）
- 必要な支援として、医療資材の他にも、「（移動短縮のための）宿泊場所」や「（健康管理のための）食事」「勤務中の子供ケア」など、**事業者と連携して支援可能なものへのニーズも高い**。
- 感染防止や健康管理など「体の健康」（90%が何らかの問題があると回答）に続き、「心の健康」を不安視する声も多く挙げられた（81%が何らかの問題があると回答）が、**具体的な支援は不足している**。
- 金銭面については、新型コロナウイルス感染者に接しない従事者に比べて、**接する従事者の方が問題を抱えている率が高く（前者が29%に対して、後者が53%）、支援を必要としている率が高い（前者38%に対して、後者66%）**。
- 感染症指定病院でない医療機関における問題も複数挙げられ、民間の診療所を含む幅広い医療機関への支援の必要が明らかになった。

## 1-3 アンケート質問

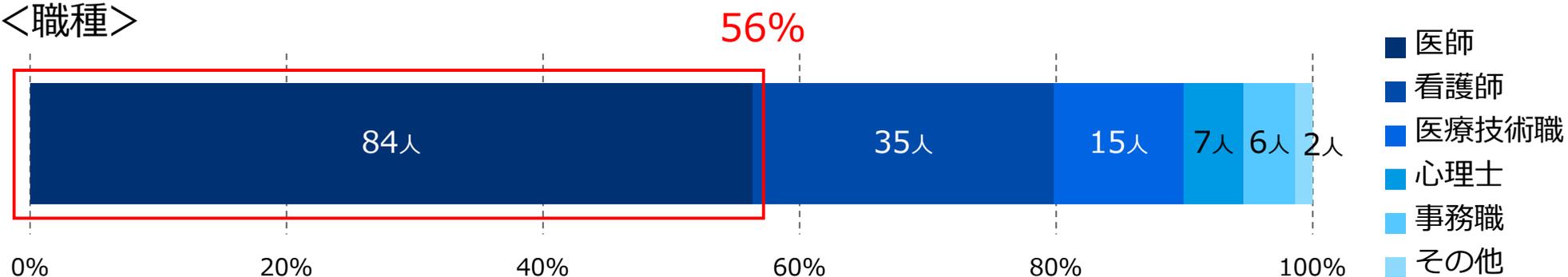
全ての設問に対し、149名の回答が得られた。また、設問9と10は複数回答可とした。

設問	回答形式
1 あなたの職種について教えてください。	選択式
2 あなたの勤務年数を教えてください。	選択式
3 あなたの医療機関について教えてください。	選択式
4 あなたの医療機関のある都道府県を教えてください。	選択式
5 あなたの医療機関は、感染症指定医療機関ですか。	選択式
6 あなたは、新型コロナウイルス感染症の患者さんに直接接することがありますか。	選択式
7 現在の同居者の有無について教えてください。	選択式
8 現場での負担やストレスの程度を教えてください。	平常時と現在について10段階
9 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、あなたがいま抱えている問題、心配、不安などについて教えてください。	複数選択式と、特に深刻なものについての記述回答
10 新型コロナウイルス感染拡大を受け、いまどのようなものへの支援を必要としていますか。	複数選択式と、特に必要なものについての記述回答

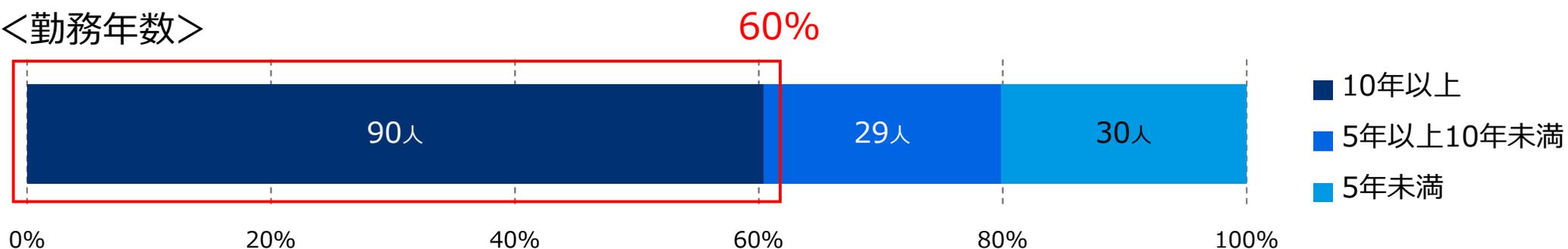
## 2-1 回答者属性（職種・勤務年数・同居者の有無）

- 回答者の過半数は医師であり、勤務年数は10年以上の回答者が約60%を占める。

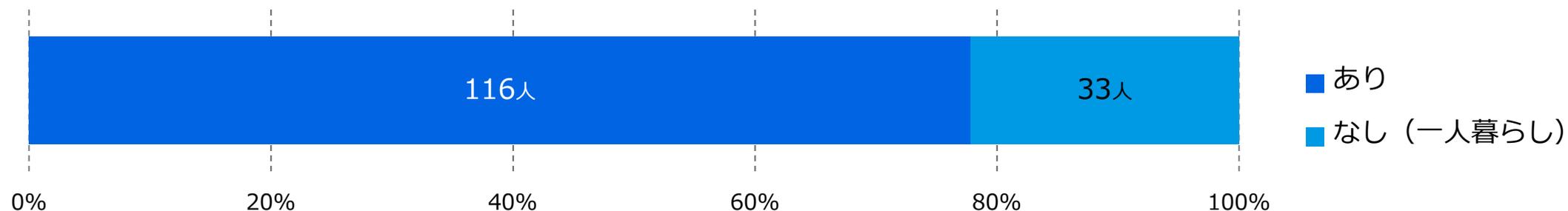
### <職種>



### <勤務年数>



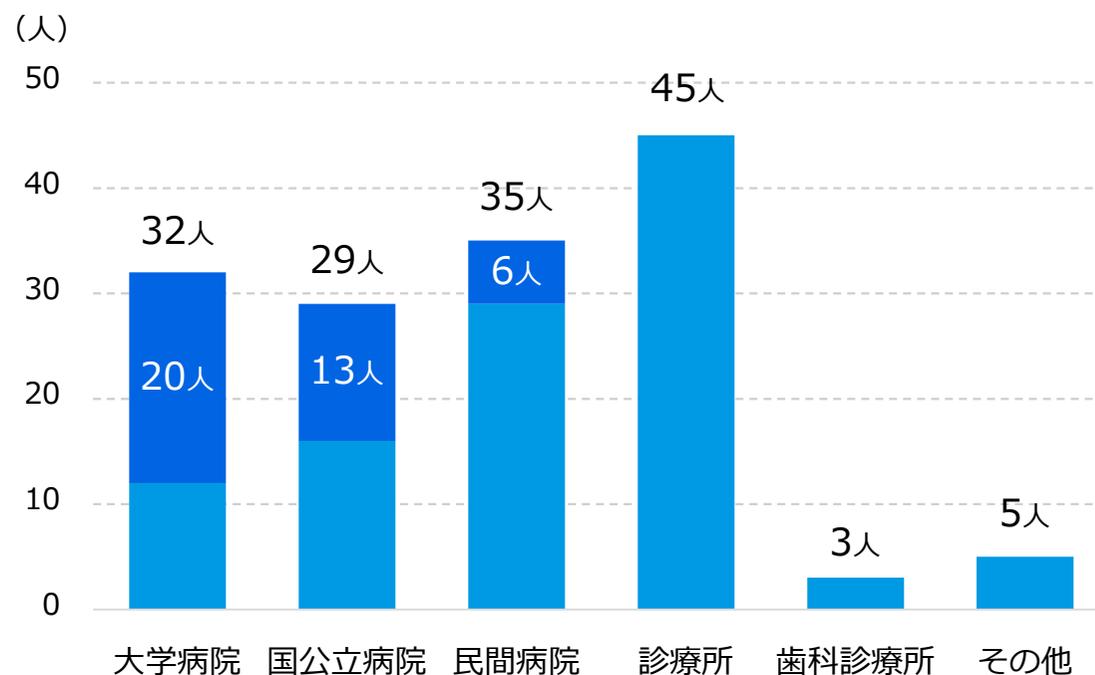
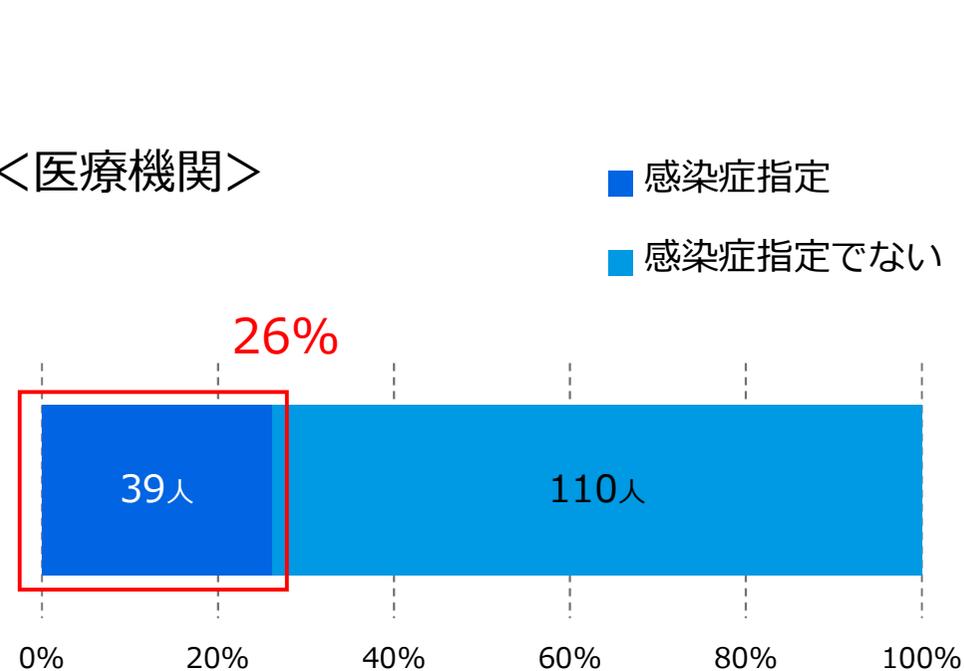
### <同居者の有無>



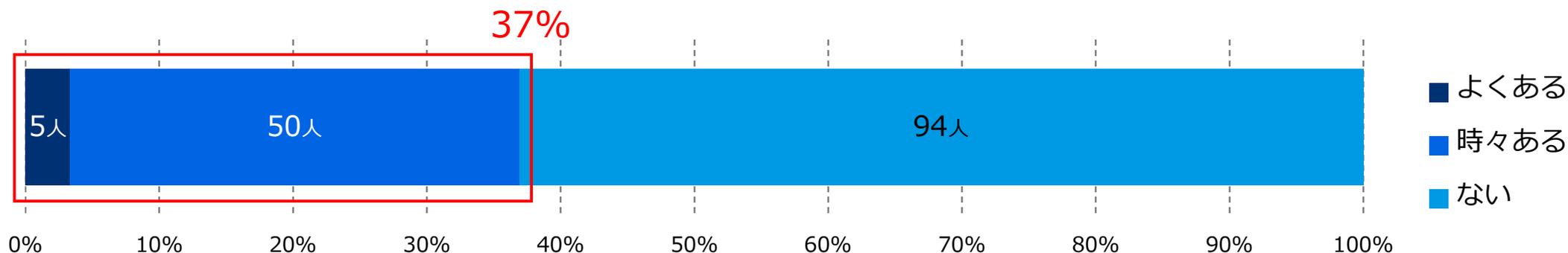
## 2-2 回答者属性（医療機関・新型コロナウイルス感染症患者との接触）

- 約26%の回答者が感染症指定の医療機関に勤務。
- 約37%の回答者が「新型コロナウイルス感染症患者との接触がある」と回答。

### <医療機関>

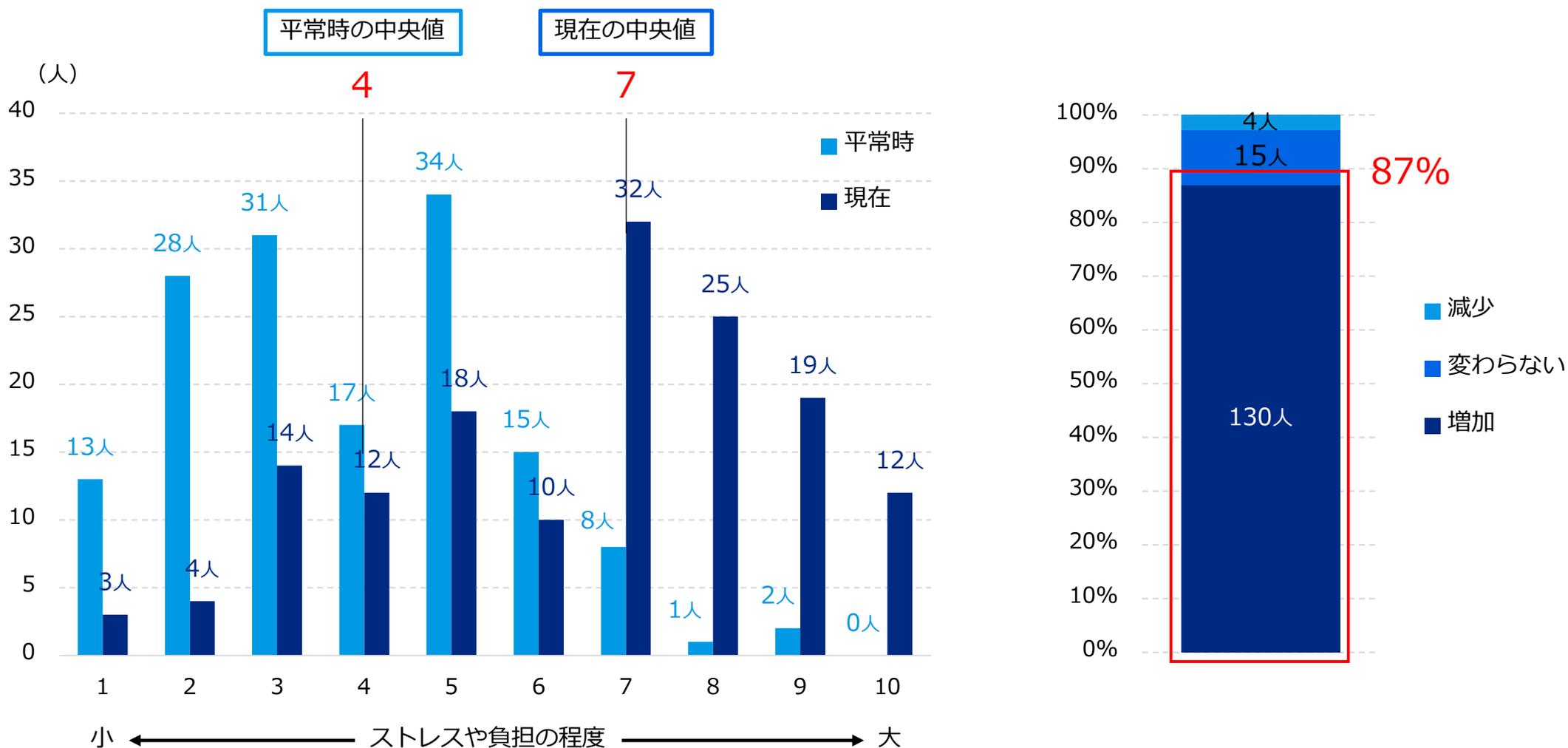


### <新型コロナウイルス感染症患者との接触の有無>



### 3 負担やストレスの程度について

- 10段階の回答で中央値は、平常時は「4」だったが、現在は「7」に上昇。
- 130人（約87%）が、平常時と比べて現在の負担やストレスの程度が増加したと回答した。



## 4-1 現場の課題と必要な支援（まとめ 1/2）

- 設問9と10の選択肢に基づき、「現場の課題」と「必要な支援」を5つに分類し、それぞれに該当する人数の割合※を算出した。
- 「体の健康」については、90%以上が、課題がある、または支援が必要と回答。
- 「心の健康」については、81%が課題があると回答したが、必要な支援を選択したのは31%にとどまり、選択肢外の支援の検討が必要であるとの示唆が得られた。
- 「業務内」についても、半数以上が課題があると回答し、医療資材の不足以外の課題も提示された。

※各分類に属する選択肢を1つ以上選択した人数を全体で除したもの。（分類と選択肢の対応は次頁参照）

	体の健康	心の健康	金銭面	業務内	業務外
問題・心配 ・不安	90%	81%	38%	59%	38%
必要な支援	93%	31%	48%	46%	28%

## 4-1 現場の課題と必要な支援（まとめ 2/2）

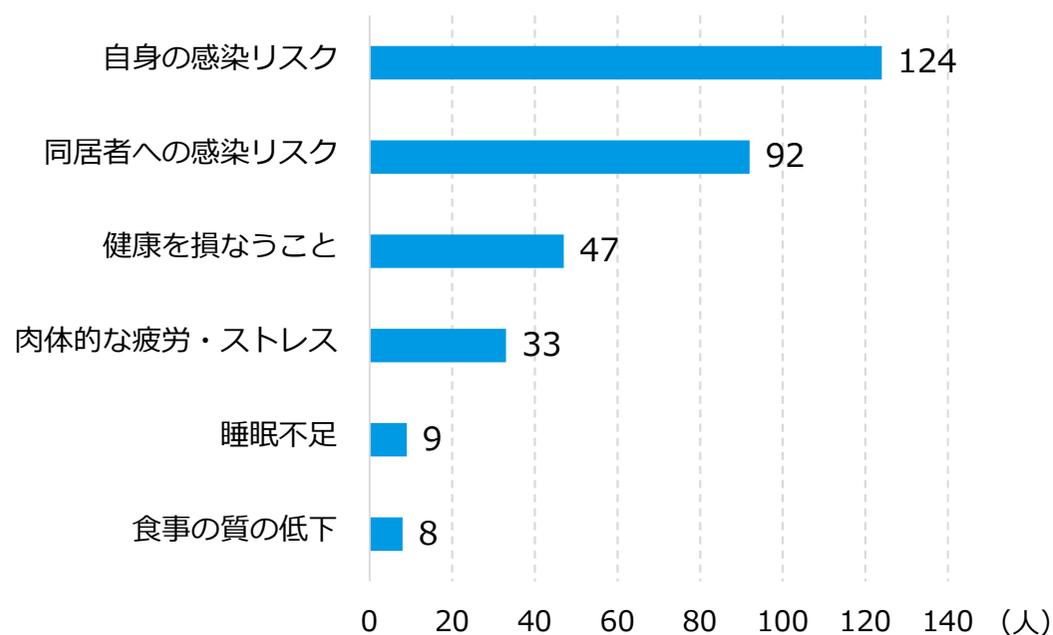
- 分類と選択肢（複数回答可）の対応は以下の通り。
- 各分類に属する選択肢のいずれかを選んだ人を「1」と数え、全体（149）で除して前頁の割合を算出。
- 次頁以降のグラフは、この分類に基づき、各選択肢を選択した人数を集計して作成した。

	体の健康	心の健康	金銭面	業務内	業務外
[9] 問題 心配 不安	健康を損なうこと 自身の感染リスク 睡眠不足 肉体的な疲労・ストレス 同居者への感染リスク 食事の質の低下	帰宅できないこと 孤独感 時間の余裕がないこと 精神的な疲労・ストレス 休めない、安らげない 風評被害・差別	収入の減少	通常業務への支障 異動への不安	子どもを預けられない 交通 (通勤中の感染リスク等)
[10] 必要な 支援	医療資材 美味しく栄養のある食事 勤務地近くの宿泊場所	人々からの感謝や労い 悩みなどを話せる相手、場 一人になれる場所	金銭的支援 (手当て、補償)	医療従事者の数 オンライン診療 の推進	子どもを預けられる場所 安全な交通手段

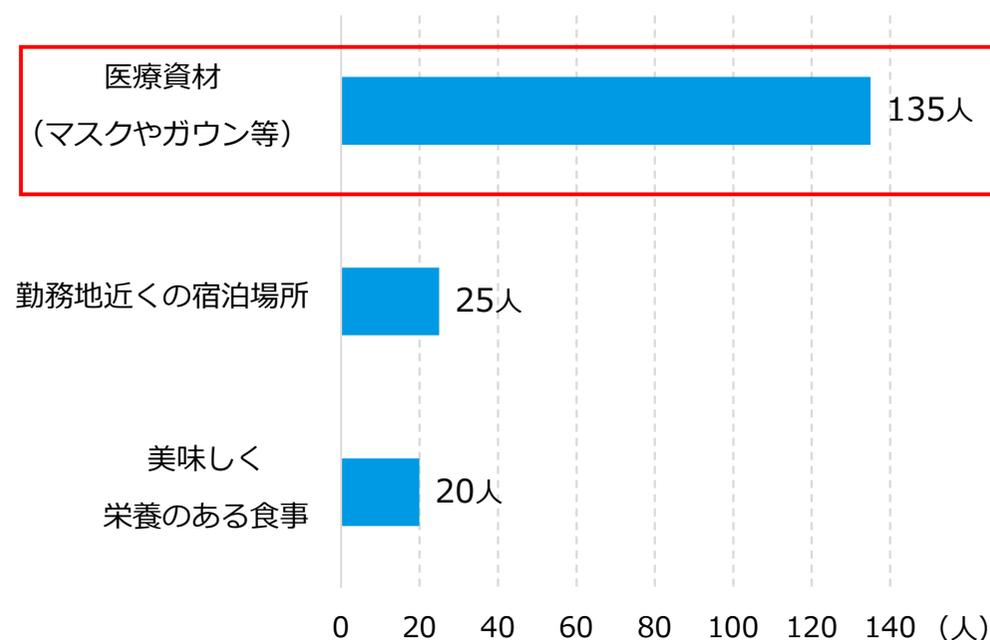
## 4-2 現場の課題と必要な支援（体の健康）

- 医療資材の支援の必要性が最も強く示された。
- 医療資材以外にも特に必要な支援として「移動距離短縮のための宿泊場所」が挙げられた。
- 自由記述からは以下の回答が得られた。
  - 特に深刻な問題として、「家族および自身の感染のリスク」や「適切な防御が整わないこと」などがある。
  - 「感染症指定病院以外にも発熱患者がたくさん来るため、資材含めて支援が必要」。

＜現場の課題（複数回答/計134人）＞



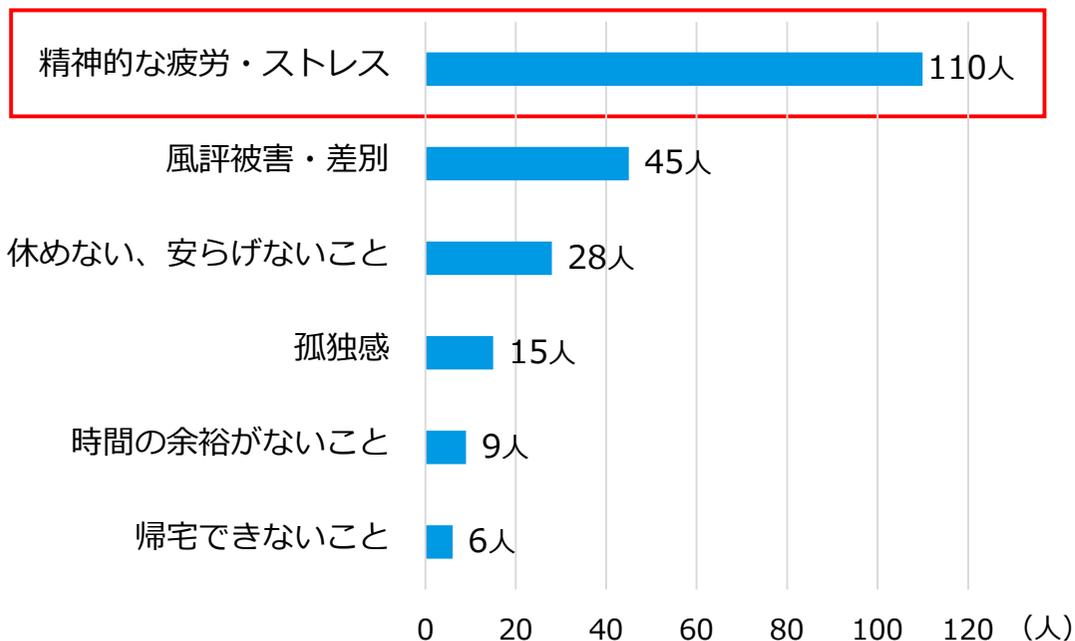
＜必要な支援（複数回答/計138人）＞



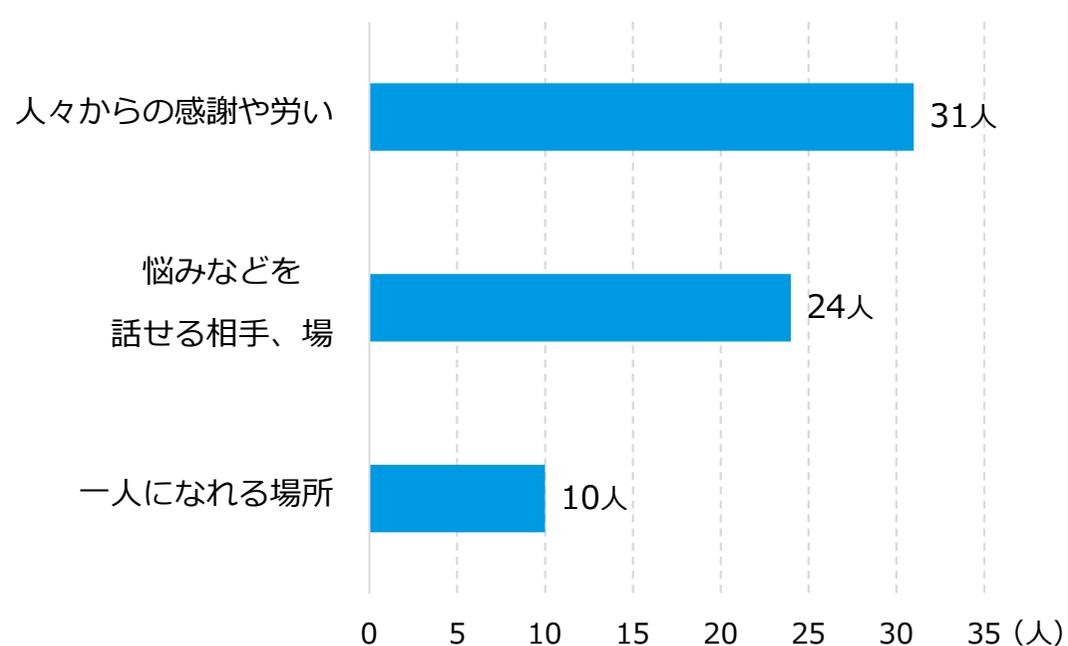
## 4-3 現場の課題と必要な支援（心の健康）

- 精神的な疲労・ストレスの問題に回答が集中した一方、具体的な支援としては多くの回答が得られた選択肢はなく、選択肢以外の支援の必要が示唆される。
- 自由記述からは以下の回答が得られた。
  - 特に深刻な問題として、「病院の再編成に伴い普段と異なる科の診察」、「手探りでの対応なので不安」などがある。
  - 「スタッフは医療機関勤務というだけで、疎外感を感じる処置を、民間だけでなく医療機関の職場からも受けて悩んでいる」。
  - 「多くの医師はボランティアで粉骨砕身するが、長期間になると燃え尽きてしまう」「ストレスとその後のバーンアウト」という懸念がある。

<現場の課題（複数回答/計121人）>



<必要な支援（複数回答/計46人）>



## 4-4 現場の課題と必要な支援（金銭面）

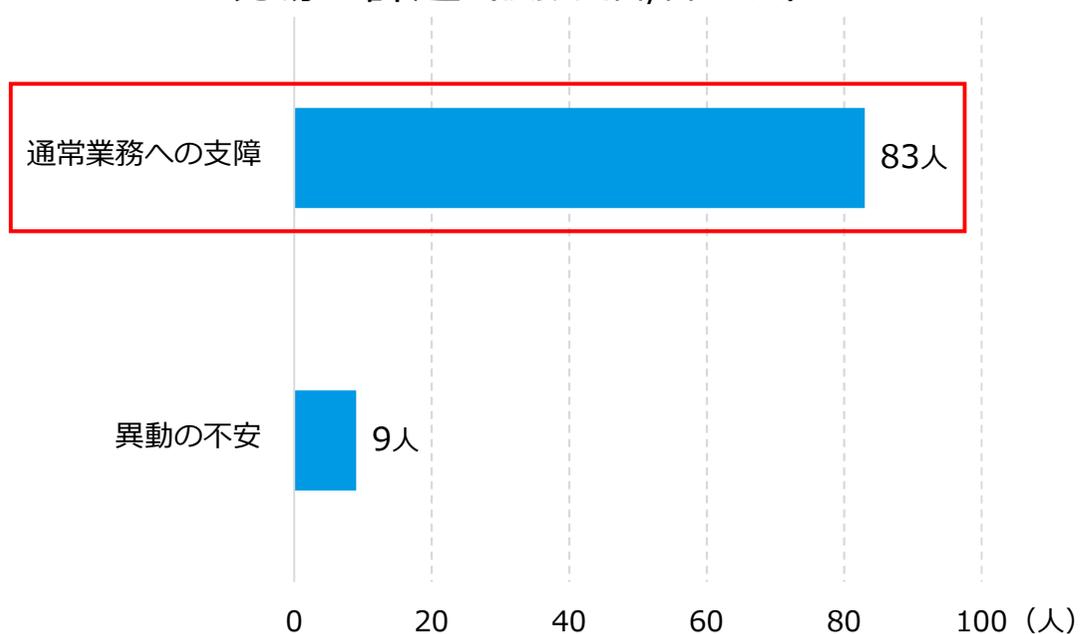
---

- 56名が金銭面での問題を選択し、72名の回答者から金銭面での支援が必要であると回答。
- 自由記述からは以下の回答が得られた。
  - 「受診抑制が生じて収入が前年同期の半分以下に激減している」など、複数の回答者から深刻な問題として収入の激減が挙げられた。
  - 「外勤禁止になった場合、大学院生は経済的困窮が避けられない」という感染拡大防止に伴う減収の声もあった。
  - 必要な支援として、医療資源購入費の他、「休日出勤の手当て」や「発熱患者診察時の手当て」という声があった。
  - 後述の業務外の問題にも関係するが、公共交通機関を控えることで、金銭的な問題につながっているとの回答も見られた。

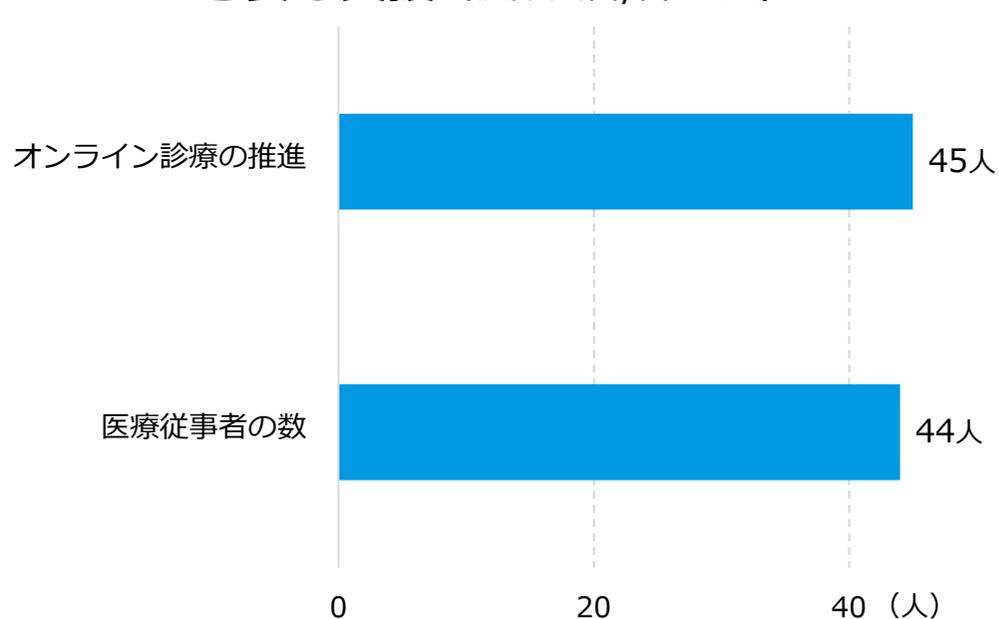
## 4-5 現場の課題と必要な支援（業務内）

- 83名が、通常業務への支障を課題として挙げた。感染症患者受け入れに伴う医療機関のリソース不足の一方で、通常の通院患者の減少が考えられる。
- 自由記述からは以下の回答が得られた。
  - 特に深刻な問題として、「病棟を再編成していて、その影響で普段見ない科の患者を見ることになるストレスが大きい」ことや、感染拡大に伴う感染対策への注意や問い合わせ対応など「平常時にはなかった事の増加」が挙げられた。
  - 特に必要な支援としては、「オンライン診療のための設備」やそれに関する「情報共有」、「非常勤の医師を断っている」ことによる人手不足が指摘された。

＜現場の課題（複数回答/計88人）＞



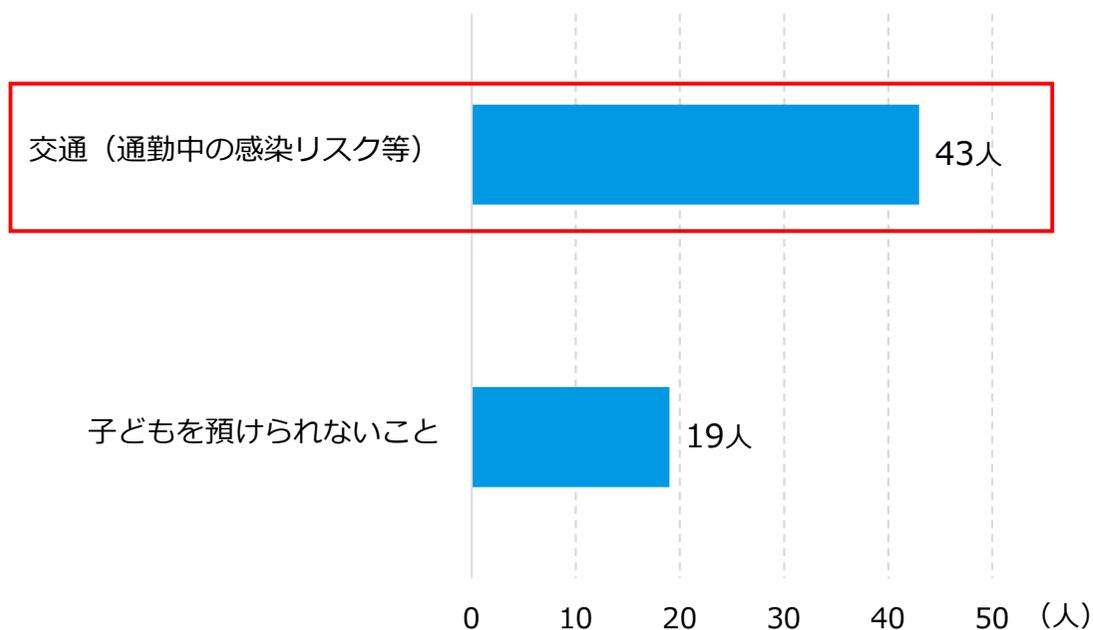
＜必要な支援（複数回答/計69人）＞



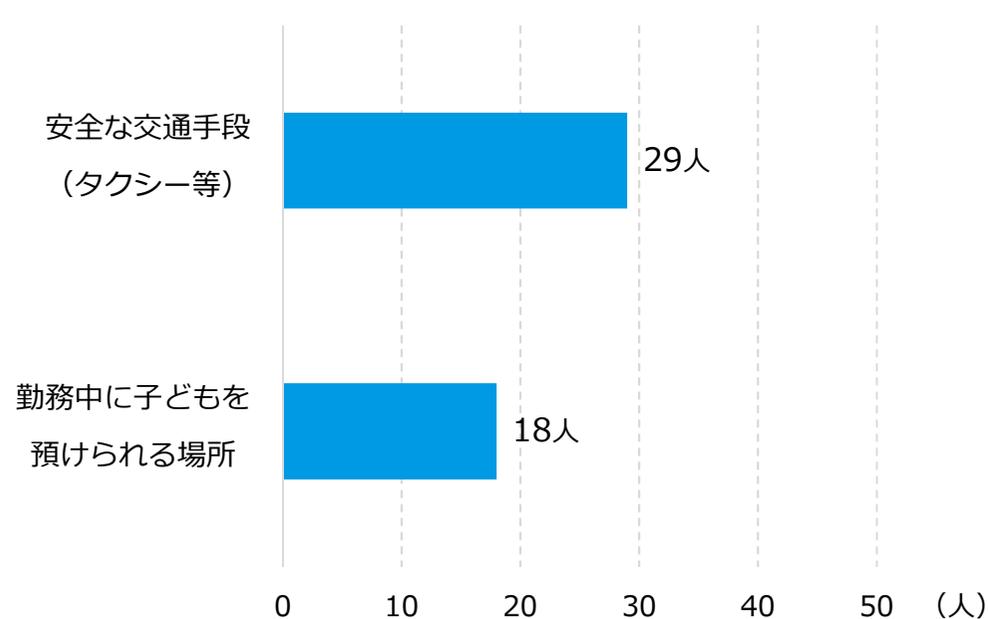
## 4-6 現場の課題と必要な支援（業務外）

- 交通に関する問題が最も多く挙げられた。
- 自由記述からは以下の回答が得られた。
  - 「子どもを預けられないと出勤できないスタッフが出て、一人ひとりの労働負荷が増える」。
  - 「こどもはお留守番の状態。何かあったときの保証がない」など、医療従事者の家族への支援を求める声も挙げられた。

＜現場の課題（複数回答/計57人）＞

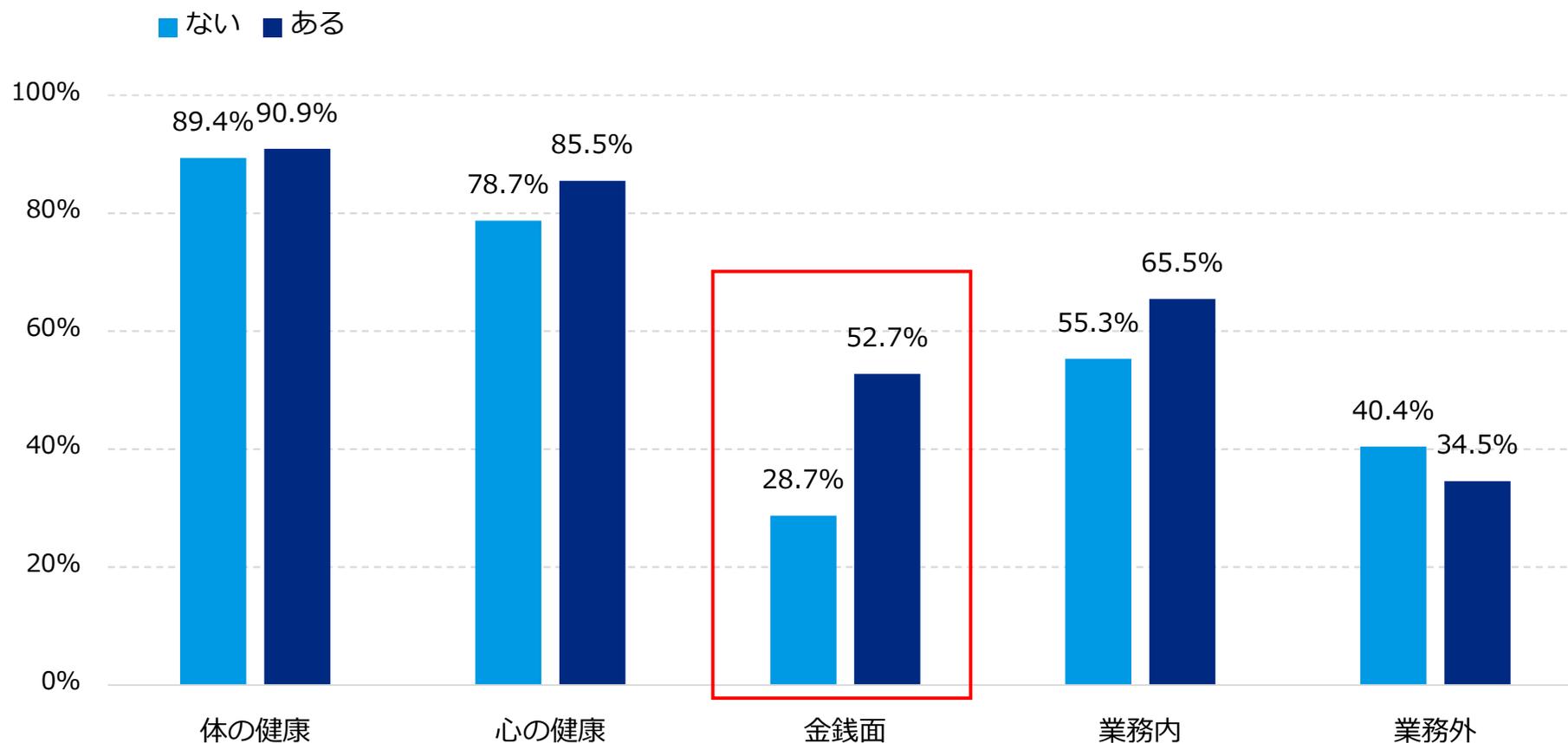


＜必要な支援（複数回答/計42人）＞



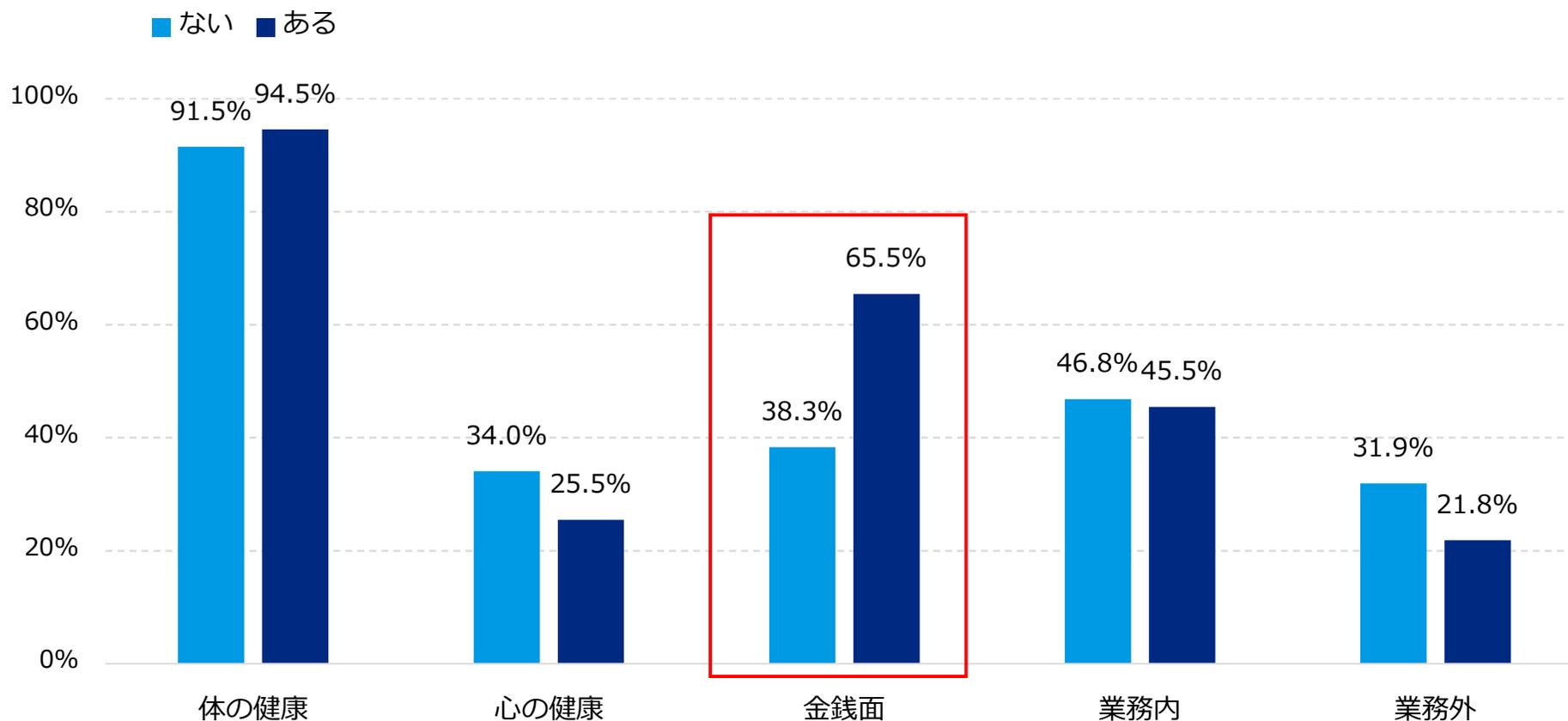
## 5-1 属性別分析：感染症患者との接触の有無による課題の違い

- 新型コロナウイルス感染症患者との接触の有無ごとに、抱えている課題についての回答を比較した。（あり：55名、なし：94名）
- 「業務外」以外の項目で、接触がある回答者の方が問題を感じており、特に「金銭面」では24%の差が見られ、手当てや補償の必要性が伺える。また、フィッシャーの正確検定ではp値が0.0049となり統計的に有意な関係が得られた。
- 心の健康や業務内の問題についても、接触がある回答者がより支援を必要としていることが伺える。



## 5-2 属性別分析：感染症患者との接触の有無による必要な支援の違い

- 新型コロナウイルス感染症患者との接触の有無ごとに、必要としている支援についての回答を比較した。（あり：55名、なし：94名）
- 「金銭面」で最も大きな差が見られ、接触のある従事者からはより金銭的支援が求められている。フィッシャーの正確検定ではp値が0.0021となり統計的に有意な関係が得られた。



### 5-3 属性別分析：勤務年数による課題の違い

- 勤務年数ごとに、抱えている問題についての回答を比較した。（10年以上：90名、5～10年：29名、5年未満：30名）
- 「金銭面」では10年以上と5年未満の回答者がより問題があると感じている。
- 「業務内」について、5年未満の回答者では70%であり、他の回答者より大きな問題を抱えていることがわかる。

